

平成26年4月1日

京 都 市

平成25年度の業務履行に対する評価及び意見について（まとめ）

平成26年3月13日開催の第9回京都市ごみ収集業務評価推進会議において、平成25年中に実施した「市民アンケート調査結果」及び「市民アンケート結果とセルフチェック結果の比較」などに基づき、各委員から平成25年度の業務履行に対する評価や意見をいただいた。

アンケート調査結果などから基本的にはこれまでの様々な取組を積極的に評価していただいたが、課題に対する意見は次のとおりであり、今後のごみ収集業務等の改善に努めていく。

意見1：交通事故防止の取組の強化

軽微な事故が増加しているが、重大な事故にもつながりかねない。職員への研修を継続的に実施すること。

また、職員が発生した事故事例を共有し、どうすれば事故を防止し、事故を減らすことができるのかという取組を行い、事故防止を徹底すること。

意見2：委託業者への指導体制の強化

委託化を進めていくに当たり、委託業者の業務水準を確保していく必要がある。そのための指導体制や仕組みを確保すること。

意見3：ごみ減量や分別に関する周知の徹底と市民との協働

ごみ減量や分別に関する広報については、積極的に行われており、今年度実施した雑がみの分別拡大に向けた社会実験においても、市民にごみ減量の効果を実感してもらっている。今後も雑がみだけでなく、プラスチック製容器・包装の分別についても引き続き周知を徹底していくこと。

また、市民ニーズに応えサービスの向上に努める一方、ごみ減量のために必要な施策については、着実に実行し、市民の理解と協力を得ながら進めていくこと。

意見4：ごみ収集時における市民への配慮等

ごみ収集時において、市民への挨拶の励行や、歩行者や他の通行車両等への配慮について改善の余地があると思われるため、サービス向上の観点から検討すること。